



副学長 内野 儀

東京大学大学院人文科学研究科修士課程修了(米文学)。学術博士(東京大学、2001)。表象文化論、舞台芸術(演劇・舞踊)論が専門。2021年4月より現職。

リベラルアーツ教育を重んじる本学には、学習院における女子教育の伝統が脈々と受け継がれています。「グローバルで多様性に開かれた学びの空間へ」という理念のもと、国際文化交流学部の中に3つの学科を持ち、少人数できめ細かな指導を行っています。

令和5年度より新カリキュラム開始

本学では「データサイエンス教育プログラムの新設」「国際的・学際的な学びの強化」「探求的で実践的な学びの深化」の3つの柱からなる新たなカリキュラム制度を令和5年度より開始します。

データサイエンス教育プログラムを新設し、今後ますますデータ駆動型社会への移行が進む中で、文系であってもデータを読み解くスキルを身につけることを目標とします。



学習院女子大学

地域連携やSDGsに関わる新規科目を創設し
社会課題解決や地域活性化に寄与する人材を育成する

本学の強みである国際性と学際性の強化では、「地域活性化とSDGs」といった、グローバル社会の多様な課題を学ぶ授業を新設し、現場体験も重視していきます。

探究的で実践的な学びの深化では、学生が自らテーマを見つけて研究する「インディペンデント・スタディ(課題研究)」を独自に設けます。複数の教員による学際的指導体制のもと、将来就きたい仕事に関わる分野について、学びを深めてもらうものです。

このように、伝統を重んじつつ、流行りすたりを追うことなく中長期的なスパンで時流を読みながら、柔軟に変化していくことを大切にしていきます。

学習院大学の卒業生を含め、全学で就活生をサポート

昨年同様、コロナ禍に対応するオンラインを中心としたサポート体制となりました。コロナ禍前と同等のクオリティのものを提供し続けるという方針のもと、すべてオンライン開催とし、年間約150回のセミナーを実施しま

した。教職員や本学・学習院大学の卒業生を含め、学習院全体で親身にサポートを行った結果、21年度就職率は97・5%となりました。

キャリア支援セミナーでは、各学年に応じたプログラムに加え、学生のニーズに応じて随時セミナーを企画・実施しています。著名企業の人事担当者を招いた企業説明会・業界研究セミナーをはじめ、4年生による内定者報告会、マナー・メイク講座、アナウンサー試験対策講座など、多種多様なプログラムを開催しています。

本学および学習院大学の卒業生による「面接対策セミナー」も、特徴的な支援の一つです。履歴書の添削から実践的なアドバイスまで、企業の第一線で活躍している卒業生が徹底した指導を行います。その他、進路が決定した学生が後輩の支援を行う「キャリアアドバイザー制度」の継続、また、昨年度4大学合同で行った「就活ゼミ」を9大学に拡大するなど、様々な取り組みを行っています。

2022年3月卒

●就職率 **97.5%**

(就職内定者354人/就職希望者363人)

2021年著名400社実就職率

(卒業生数500人以下の大学)

全国私立女子大 1位

(大学通信調べ)

主な就職先企業

アクセンチュア、ADKホールディングス、PwCコンサルティング、住友化学、三菱ケミカル、パナソニック、村田製作所、みずほフィナンシャルグループ、三菱UFJ銀行、損害保険ジャパン、日本生命保険、三菱倉庫、星野リゾート・マネジメント、東京23特別区人事委員会、国税庁(東京国税局)、熊谷組、積水ハウス など

OPEN CAMPUS

9/24(土)、11/26(土)

[予約不要・入退場自由]

学習院女子大学の教育
次のステージへ

新カリキュラム
の詳細はこちら
から▶



https://gwc-gakushuin.jp/next_stage/



参加した学生からは「改めて自分の人生を前向きに考える契機となった」「今後、会社選びをする上で大切にすべきことを考えさせられた」といった感想が寄せられました。

卒業生だからこそ聞ける本音トークを通じて、学生にとって、社会で働くことの意義を学び、自分の将来のキャリアについて考える貴重な機会となりました。

close up

本学および学習院大学の卒業生が働く意義や社会人の実像を伝えることで、学生の多様なキャリア観の醸成に寄与する「オンラインOBOG訪問会」を実施しました。

「社会に出てみて気付いたこと」「ライフイベントとの両立」「海外と関わって働くとは」など、学生が関心のある5つのテーマを設定し、それぞれのテーマに沿って、社会で活躍する先輩方に体験に基づき、話をしていたいただきました。

社会で活躍する先輩の話を聞ける「オンラインOBOG訪問会」